

令和元年度 北海道大学入学料〔免除・徴収猶予〕申請書

入学料

※申請する区分を○で囲む

入学区分(○で囲む)	4月入学	○10月入学
------------	------	--------

申請者	フリガナ		男・女	通学区分	自宅・自宅外	編入学区分 (編入学の場合には○を付ける)			
	氏名								
	昭和・平成 年 月 日生 (歳)					学年	年	学生番号	
	所属研究科(院)・学部・部及び課程・学科	研究科(院) 学部・部	課程 学科	受験番号					
	奨学金	月額	年額(月額×12ヶ月)	種類(○で囲む) 一種 ・ 二種 ・ 給付					
	日本学生支援機構奨学金	千円	千円	奨学団体名					
	その他、貸与の奨学金	千円	千円	奨学団体名					
	その他、給与の奨学金	千円	千円	奨学団体名					
	独立生計	独立生計者として申請する。(親の扶養から外れ、国民健康保険を自分で支払い別居独立していること)						1. はい	2. いいえ
	家族数	人 (本人を含む、同一生計の家族数)							

家族及び所得	就学者を除く家族									
	申請者との続柄	本人	父	母	()	()	()			
	氏名	—								
	年齢	—								
	職業									
	給与所得の収入金額(税込)	給与・役員報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		年金・恩給	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		失業手当	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		児童手当、児童扶養手当、生活保護費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		アルバイト	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		合計	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	給与以外の所得金額	事業収入(必要経費控除後の金額)	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		利子・配当・家賃・地代(必要経費控除後の金額)	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
(同一生計世帯以外からの)援助・養育費		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
退職金・保険金・資産譲渡等の一時所得・その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
合計		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

(本人以外)	氏名	続柄	年齢	在学学校名	学年	通学区分(○で囲む)	学生番号(※)
				立		自宅・自宅外	
				立		自宅・自宅外	
				立		自宅・自宅外	

※北海道大学に在籍している場合は学生番号を記入してください。

特別控除	○を付ける	項目	人数・金額・その他記載事項(※)	添付する証明書類等(関係書類等一覧表で確認すること)
		母子父子世帯	年 月から 理由()	世帯全員の住民票(場合により戸籍謄本)
		障害者がいる世帯	障害者数 人	障害者手帳(写)
		生活保護世帯	—	生活保護決定通知
		被爆者がいる世帯	—	
		長期療養者(6ヶ月以上)がいる世帯	医療費 千円	様式4及び医師の診断書・領収書等
		家計支持者別居世帯	かかる経費 千円	様式6及び住居光熱水費にかかる領収書
	6ヶ月以内に被災した世帯	被害額 千円	被災(罹災)証明書、修繕の見積書及び保険金で支払を受けた証明書	

※該当する項目について、年月、人数又は金額を記入してください。なお、記入項目に係る証明書類等を必ず添付してください。

長期療養	氏名	種類(○で囲む)	手帳番号	期間
		長期療養・身体障害・心身喪失又は知的障害・原爆被爆(※障害の有・無)		年 月から
		長期療養・身体障害・心身喪失又は知的障害・原爆被爆(※障害の有・無)		年 月から

大学記入欄	独立生計	家族数	申請理由	その他
	<input type="checkbox"/> 該当する	人	1. 一般 2. 特例 3. 災害 4. 東日本大震災 5. その他	

○家庭事情記入欄

○申請者及び連帯保証人署名

北海道大学総長 殿

以上のとおり、記載事項に虚偽・相違はありません。

令和 元 年度入学料の [免除 ・ 徴収猶予] を受けたいので、関係書類を添え連帯保証人連署の上申請します。

なお、免除(徴収猶予)の結果が決定されるまでの間、入学料の納入を猶予していただきたく併せてお願いします。

令和 年 月 日

申請者
(学生本人)

氏名(自署)

住所

電話

連帯保証人

氏名(自署)

住所

電話

記入例

申請者
 ◇学生番号が決定していない場合は学生番号を空欄とし、受験番号のみを記入する。
 ◇独立生計で申請する者は、その旨を該当欄に記入、国民健康保険証及び住民票(世帯全員)を添付する。なお、家庭の従業員(専従者)となっている場合は原則として認めない。

家族及び所得
【家族】
 ◇父母は必ず記入し、「家族」は同居・別居を問わず申請者と生計を同一にする者を記入する。
 ◇働いている兄弟等でも、生計が同一の場合には家族に含まれる。
 ◇申請者が結婚している場合は、配偶者を「夫」又は「妻」と記入する。
 ◇専業主婦、家事手伝い、無職等の場合もその旨を「職業」に記入する。
 ◇父又は母が死別、離別している場合等については、「職業」にその旨を記入する。また、下欄の「特別控除」の母子父子世帯に○を付け、その年月と理由(死別・離別等)を記入する。
 ◇申請時点で死亡している者については記入しない(家族には含まれない)。
 ◇就学者を除く家族のみを記入する。就学者については下欄の就学者に記入する。
 ◇独立生計者の場合でも、父・母の氏名、年齢、職業を記入する。

【所得】
 ◇所得には該当する種類別に原則として、前年分(1月～12月)収入額(所得額)を記入する。
 ◇前年の途中で就職・転職(開業・転業等を含む)した場合は、申請時現在の月収・賞与などを考慮し推定年収を記入し、様式1「年収見込証明書」を併せて提出する。
 ◇日本学術振興会特別研究員等は「職業」にその旨を記入し、年度内に受給予定の研究奨励金の総額を「給与・役員報酬」に記入する。なお、金額については非課税分を含む金額を記入する。また、平成31年度採用で源泉徴収票がまだ発行されていない場合には、採用通知等の写(コピー)を併せて提出する。
 ◇前年に収入のあった者が失業している場合は、失業給付金等の金額を記入する(雇用保険受給資格者証に記載の日額と日数から算出)。
 ◇年金については非課税の年金(障害年金、遺族年金等)についても対象となるので、必ず記入する。
 ◇申請者本人のアルバイトについては、原則として前年度実績について記入するが、変更等が見込まれる場合は年間見込額を記入する。(できるだけ直近3ヶ月分程度の給与明細書を添付する。) **◇退職金(退職一時金)、保険金、資産譲渡などの臨時所得については、**

就学者(本人以外)
 ◇申請時点(4月1日又は10月1日)で就学している者(就学予定の者を含む)を記入する。なお、未定箇所については「予定」と記入する。
 ◇就学者については上欄の「家族」ではなく、本欄に記入する。
 ◇北海道大学に兄弟等が在籍している場合には、学生番号を記入する。
 ◇予備校、各種学校、高等技術専門学院(旧職業訓練校)、防衛大学校等に在学する者は、本欄ではなく、「家族及び所得」に記入する(就学者扱いではない)。

特別控除
 ◇該当する項目がある場合は必ず○を付け、必要事項を記入する。
 ◇証明書類等を必ず添付する。(証明書類等がない場合には控除を受けられません)

長期療養・障害者
 ◇長期療養者(申請時において6か月以上の期間療養中又は療養を認められる者)及び障害者については、上欄の「特別控除」に○を付けるとともに、該当者を本欄に記入する。

令和元年度 北海道大学入学科 [免除・徴収猶予] 申請書 入学科

入学区分(○で囲む) 4月入学 10月入学

フリガナ 氏名	ホクダイ サブロー		性別	男	自宅	自宅外	編入学区分 (編入学の場合には○を付ける)
昭和(平成)	12年	10月1日	日生	(18歳)			
所属研究科(院)・学部 及び課程・学科	総合教育		研究科 (学部)	課程 学科	学年	1年	学生番号 12345678 受験番号(入学時のみ) A1234567
奨学金	月額	年額(月額×12ヶ月)	種類(○で囲む)	一様	二様	給付	
日本学生支援機構奨学金	45	540					
その他、貸与の奨学金				奨学団体名			
その他、給与の奨学金				奨学団体名			
独立生計	独立生計者として申請する。(親の扶養から外れ、国民健康保険を自分で支払い別居独立していること)		はい	いいえ	2.いいえ		
家族数	7		人 (本人を含む、同一生計の家族数)				

申請者との続柄	就学者を除く家族			
	本人	父	母	(祖父)(祖母)
氏名	—	北大 太郎	北大 花子	北大 和夫
年齢	—	56	55	80
職業	—	自営業	会社員	無職
給与・役員報酬	—	—	3,400	—
年金・恩給	—	—	—	1,200
失業手当	—	—	—	—
児童手当、児童扶養手当、学生・児童手当	—	120	—	—
アルバイト	—	—	—	—
合計	—	120	3,400	1,200
雑収入 (給与・配当・家賃・地代・公営住宅賃料等を除く)	—	2,000	—	—
利子・配当・家賃・地代 (公営住宅賃料等を除く)	—	—	500	—
借入金・借付金 (借入・借付金)	—	—	—	—
退職金・養育費 (退職金・養育費)	—	—	—	—
資産譲渡等の一時所得 (資産譲渡等の一時所得)	—	—	—	—
合計	—	2,500	—	—

氏名	続柄	年齢	在学学校名	学年	進学区分(○で囲む)	学生番号(※)
					自宅	
北大 一郎	兄	26	国立 北海道大学(博士)	2	<input checked="" type="radio"/> 自宅	87654321
北大 二郎	兄	21	私立 早稲田大学(学部)	3	<input checked="" type="radio"/> 自宅	<input checked="" type="radio"/> 自宅外
北大 四郎	弟	14	市立 北辰中学校	2	<input checked="" type="radio"/> 自宅	<input checked="" type="radio"/> 自宅外

※ 北海道大学に在籍している場合は学生番号を記入してください。

○で囲む	項目	人数・金額・その他記載事項(※)	添付する証明書類等(関係書類等一覧表を確認すること)
<input checked="" type="radio"/>	母子父子世帯	年 月 理由 ()	世帯全員の住民票(場合により戸籍簿本)
<input checked="" type="radio"/>	障害者がある世帯	障害者数 1人	障害者手帳(写)
<input checked="" type="radio"/>	生活保護世帯	—	生活保護決定通知
<input checked="" type="radio"/>	被爆者がある世帯	—	—
<input checked="" type="radio"/>	長期療養者(6ヶ月以上)がいる世帯	医療費がかる	様式4及び医師の診断書・領収書等
<input checked="" type="radio"/>	家計支持者別居世帯	給付額	様式6及び住居光熱水費にかかる領収書
<input checked="" type="radio"/>	6ヶ月以内に被災した世帯	被災額 1,000	被災(罹災)証明書、修繕の見積書及び保険金で支払を受けた証明書

※ 該当する項目について、年月、人数又は金額を記入してください。なお、記入項目に係る証明書類等を必ず添付してください。

氏名	種類(○で囲む)	手帳番号	期間	
			年	月
北大 和夫	長期療養・身体障害	12-36456	H12	4月
	長期療養・心身喪失又は知的障害			
	長期療養・心身喪失又は知的障害			

独立生計	家族数	申請理由	その他
<input type="checkbox"/> 該当する	人	1.一般 2.特別 3.災害 4.東日本大震災 5.その他	

入学区分
 ◇入学区分(4月入学・10月入学)を○で囲む。

編入学区分
 ◇編入学の場合には○を付ける

所属研究科(院)・学部・部
 ◇学部入学者(学部別入試・総合入試)
 ・入試区分に関わらず「総合教育」と記入し、学部を○で囲む。
 ◇学部編入学者
 ・編入する学部名を記入し、学部を○で囲む。
 ◇大学院入学者
 ・入学する研究科(学院)名を記入し、研究科(院)を○で囲み、課程(修士・博士・専門職学位)を記入する。

奨学金
 ◇貸与、給与のいずれの奨学金についても記入する。
 ◇奨学金は原則として、前年度金額を記入するが、変更が明らかな場合には、変更後の金額を記入する。(今年度、奨学金を受けないことが明らか場合には記入する必要はありません。)
 ◇日本学術振興会特別研究員の研究奨励金については、奨学金ではなく、「給与・役員報酬」に記入する。

合計
 ◇給与所得の収入金額の合計と、給与以外の所得金額の合計をそれぞれ記入する。

就学者(本人以外)の在学学校名・学年・進学区分
 ◇設置区分(国立・公立・私立・私立等)を必ず記入する。
 ◇学校名は正確に記入し、大学生の場合には課程(学部・修士・博士等)についても記入する。
 ◇学年については、申請時点(4月1日又は10月1日)における学年を記入する。
 ◇進学区分を必ず記入する。

障害者
 ◇身体障害者福祉法第15条第4項の規定により交付を受けた身体障害者手帳に「身体障害がある人」として記載されている者又はこれに準ずる者
 ◇公費療養の認定を受け、身体上の障害のある者
 ◇原子爆弾による被爆者
 ◇心身喪失の状況にある者、知的障害者
 ◇常に就床を要し、自分で排泄できない程度以上の者で複雑な介護を必要とする者

長期療養における医療費
 ◇医師、歯科医師に対して支払った診療代・治療費
 ◇入院費(保険内診療分の対象となります。老人ホームの入所費、介護サービスの利用負担額、保険外診療の特別室料・診断書料等については対象外です。)
 ◇あんま師、はり・きゅう師、柔道整復師等に支払った費用
 ◇看護人に対して支払った費用
 ◇治療又は療養のため支出した医薬品代
 ◇病院、診療所へ通院するために支出した交通費
 ※高額療養費制度により、健康保険組合等から医療費の給付(還付)を

